

〈続けること〉

会社の目的は、つじくわいこと、継続することです。日本にはたか
さんの「100年企業」があるこのことです。その数は世界一、100年以上
続いている会社は、2万社以上、200年以上の会社は1241社、500年
以上の会社は84社とのことです。100年200年続いていることは、大不況
戦争と様々な危機を乗り越えてきた企業です。会社はどのくらい
続くかといいます。1年後60%、3年後38%、5年後15%、10年後5%だ
こうです。10年続く企業は5%。また、20年続く会社は0.89%、30年
続く会社は0.025%程度だこうです。30年続く（会社は、ほこいであ
りません。赤字企業は7割を超えています。黒字でなければ会社はつ
ぎません。赤字が続けばつじくわいしてしまいます。30年は持ちません。企業は
30年でつじくわいおうにできています。100年以上続く企業で「変えていな
いもの」と「変えているもの」があるこのことです。経営理念（家訓等）と
のいん（屋号、ブランド名）は、5割強の企業が変えていません。これ
に対して、生産技術、販売方法、販売エリア、顧客、仕入れ、事業内容、商品
サービス内容は8割以上の企業が変えています。理念（家訓）とのいんは
守り抜くけど、商品、サービスや事業内容は、時代に合わせてどんどん
変えていく。続く会社は、売上は2割下がって七利益確率（損益分岐
点比率が40%以下）、自己資本額が大い（一人当たり500万円以上）、
取引先が多い（一社に集中しない）、無理な成長はない（長いレンジ
で経営をやる）、業界環境が悪くても儲かっている会社もある（業界の
環境ではない）、社長がいつまでも営業をしている会社は伸びない。
社長が社員のせいにする会社は伸びない。今の重役出勤は、社
長が社員より先に来る（社長は社員より1時間早く来て社員が帰る
土日も休まずに働く）、儲かる仕組みがある、お客様から値引きの
要請がない、強い商品、差別化。

高林業務